第28号様式(第21条関係)

放射性同位元素装備診療機器備付届

　　年　　月　　日

　　大分県知事　　　　殿

住所

管理者　氏名

電話番号(　　)　　　―

　下記のとおり病院(診療所)に放射性同位元素装備診療器具を備えたいので、医療法第15条第3項及び医療法施行規則第27条の2の規定により届け出ます。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 病院(診療所)の名称及び所在地 | 名称 | 　 |
| 所在地 | 　 |
| 診療機器の概要放射性同位元素装備 | 製作者名 | 　 |
| 型式及び台数 | 　 |
| 装備する放射性同位元素 | 種類 | 　 |
| 数量 | ベクレル |
| 用途 | 　 |
| を使用する者放射性同位元素装備診療機器 | 氏名 | 職名 | 放射線診療に関する経歴 |
| 　 | 　 | 　 |
| 予定使用開始時期 | 　　　　　　年　　　月　　　日 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機器使用室の構造設備放射性同位元素装備診療 | 使用の場所 | 　 |
| 建築物の構造 | 耐火構造・不燃材料 |
| 外部に通ずる部分の閉鎖設備又は器具 | 　 |
| 間仕切り等の放射線障害予防措置 | 　 |
| 標識 | 有・無 |
| 放射性同位元素装備診療機器使用室の予防措置 | 注意事項の掲示 | 患者 | 有・無 |
| 従事者 | 有・無 |
| 管理区域 | 管理区域を設ける場所 | 別添図面のとおり |
| 管理区域の境界 | 1.3ミリシーベルト／3ヶ月を超えない措置有・無 |
| 立入制限措置 | 有・無 |
| 標識 | 有・無 |
| その他 | 敷地内居住区域及び敷地境界における実効線量 | 250マイクロシーベルト／3ヶ月を超えない措置有・無 |
| 入院患者の被ばく防止病室における実効線量 | 1.3ミリシーベルト／3ヶ月を超えない措置有・無 |
| 従事者の被ばく測定器具 | ガラスバッジ・ポケット線量計その他(　　　　　　　　　　　　　　　　) |

注　1　隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した放射性同位元素装備診療機器使用室の平面図及び側面図を添付すること。

　　2　放射性同位元素装備診療機器使用室図は、その各室ごとに線源から天井、床及び周囲の画壁外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入した50分の1又は100分の1の縮図とすること。

　　3　管理区域の標識等の位置を使用室図中に記入すること。